

令和2年度 第2回社会教育委員会議事録

会議の名称	令和2年度 第2回社会教育委員会議
開催日時	令和3年2月10日(水) 14時00分から16時00分まで
開催場所	大和高田市中央公民館 視聴覚室
出席委員	佐藤政幸・井上佳也・中西達・前川慎子・池田マサ子・西川義久・新森和男・吉田純子・當麻稔・稲垣とし枝・表啓充・戸倉教雄(計12名)
欠席委員	2名
担当課職員名	教育長 梶木義敏 ・教育委員会事務局長 吉井護 教育委員会事務局次長兼学校教育課長 久保葉二 生涯学習課長 増田広康 ・青少年課長 梶村圭 体育振興課長 村岡司朗 ・文化振興課長 須釜宏之 生涯学習課課長補佐 藤田祥司 ・生涯学習課文化財係主任 北中恭裕 生涯学習課 稲岡勇希 (計10名)
会議の次第 及び会議の公開 又は非公開の別	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度成人祝賀式及び成年年齢引き下げにともなう成人祝賀式の開催方針について(公開)</li> <li>・各団体のコロナ禍における活動方針等の報告(公開)</li> <li>・各課からの報告・連絡事項について(公開)</li> <li>・その他(公開)</li> </ul>
傍聴者の数	0人
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>①成年年齢引き下げにともなう成人祝賀式の開催方針について</li> <li>②いじめ見逃しゼロを目指した組織の構築に向けて</li> <li>③令和2年度第52回奈良県社会教育学校の開催について</li> <li>④社教情報No.84</li> <li>⑤令和2年度社会教育委員会議名簿</li> </ul>
会議録の作成	<input type="checkbox"/> 録音機を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
その他の事項	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、決定事項）

## 1 開会

---

【事務局：増田課長】

ただいまより、令和2年度第2回社会教育委員会議を開会いたします。

委員の皆様には、公私ともご多用中のところ、ご出席いただきましてありがとうございます。

本日の会議は、委員14名のうち現在12名の出席をいただきました。過半数以上の委員の出席となり、大和高田市社会教育委員会議運営規則第3条第4項の規定により本日の会議は成立することをご報告申し上げます。

## 2 出席委員の紹介

---

## 3 事務局の紹介

---

## 4 議長挨拶

---

## 5 教育長挨拶

---

## 6 議事

---

【事務局：増田課長】

それでは会議に入りたいと思います。本日の会議は原則公開となりますのでご承知おきください。

稲垣議長様、進行よろしく申し上げます。

【稲垣議長】

まず初めに第1号議案「令和2年度成人祝賀式及び成年年齢引き下げにともなう成人祝賀式の開催方針について」ですが、事務局生涯学習課長より内容の説明をお願いします。

【事務局：増田課長】

1月10日に開催しました「令和2年度成人祝賀式」には、本年度の対象者602名の内、409名が出席しました。出席率は約67.9%です。例年、約75%が出席してมาますので、今年度はコロナで参加を控えた人が多かったためと考えられます。

今回の式典を開催するに当たっては、感染予防対策として、来賓・主催者の登壇人数削減による式典の規模縮小と第2部のアトラクションの取りやめ等、式典プログラムの見直しにより大幅な時間短縮を図りました。

会場は従来どおり、さざんかホール大ホールを使用しましたが、会場内の密を避けるため2階席も新成人専用とし、1席間隔としました。

ホール玄関において、入場時と退場時、職員が参加者に手指消毒を行いました。また、マスクを忘れた人にマスクを配布しました。

ホール入口やエントランスホール内での混雑を避けるため、入口から受付までの間にコーンとバーで通路をつくり、入口から受付、席へのスムーズな誘導を行いました。

式典中、ホワイエ内及び大ホール内では、大型送風機10台で換気を行い、空気清浄機を11

台配置しました。

今年度は例年ご協力いただいている「ひまわりコーラスグループ」「スカウト協会」「着付け教室」「社会教育委員」の皆さんにはご参加いただけませんでした。来年度は感染状況・収束状況をみながら協力要請を行っていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

続きまして、令和4年度以降の「成人祝賀式」の対象年齢についてです。

成年年齢引き下げに伴う令和4年度以降の成人祝賀式への対象年齢について、平成31年2月の教育委員会定例会及び令和元年7月定例会においてお諮りいたしました。教育委員の皆様からは、入試の日程の関係や複数の学年を一度にやるのは会場的にも難しい等の理由により、従来どおり20歳を対象とする方向でよいのではというご意見をいただいております。

また、昨年2月に開催しました社会教育委員会義でお諮りしました際には、20歳にならないと飲酒・喫煙・ギャンブルなどの制約がなくなる。受験や就職の時期と重なり、保護者の経済的負担が大きくなる。また、令和4年度については、3学年同時となる会場の問題・着付け・美容師等の問題があることにより、従来どおりの20歳を対象とするほうが良いというご意見をいただきました。一方で自覚をもたせるためには、18歳を対象とするのもいいのではないかとご意見もいただいております。

これらの会議でのご意見と本日皆様にお配りしている奈良県内39市町村を対象とした「成年年齢引き下げ後の成人式の対象年齢について」の集計結果を資料として、先月堀内市長に開催方針について、相談しました結果、従来どおり20歳を対象として開催する方向で準備を進めるようにと、指示をいただいたところです。

生涯学習課としましても、従来どおり20歳を対象として開催する方針で、委員の皆様方にご承認いただきましたら、今月18日の教育委員会定例会に再度諮り、その結果をもって改めて市長に決裁いただき、大和高田市の方針として発表したいと考えております。

#### 【稲垣議長】

ただいま生涯学習課から報告・説明がありましたが、どなたかご意見または質問はありませんか。ないようでしたら、第1号議案の承認を拍手でお願いします。

続きまして第2号議案 コロナ禍における活動方針等の報告についてです。

新型コロナウイルスによる活動制限が始まってから、もうすぐ一年が過ぎようとしております。この間、委員の皆様が所属されておられる団体やグループにおきましても、活動を続けていく中で、いろんなご苦労があったと思います。

年末年始にかけての感染拡大をうけ、お隣の大阪・京都でも緊急事態宣言が発令されている状況ではありますが、ウィズコロナ・アフターコロナの時代を見据え、どのような形で活動を行っていく方針をお持ちでしょうか。本日は情報交換の場としたいと思いますので、提案事項等がありましたら、報告いただけますでしょうか。なお、ご案内ではひとかた2分程度とお願いしておりましたが、特に報告事項のない委員については、報告事項がない旨、お答えいただければと思います。

佐藤委員からお願いいたします。

### 【佐藤委員】

学校の方からお話させていただきます。今年度の学校教育は危機的な状況からスタートしました。子ども達はもちろん保護者や地域の皆様には、ご心配とご負担をお掛けしました。一年が経った今でも子ども達には窮屈な学校生活をさせてしまっています。学校で預かる身として申し訳ない気持ちです。学校における新しい生活様式、感染防止の対策はもちろんですが、今はICTの導入、小学校は今年度から、中学校は来年度から新しい学習指導要領が実施される時期にあたっています。また、教員については、働き方改革を推進しなさいということで、学校教育に対して、かつてないほど大きな変革を求められています。

学校はこんな状況にあります。現場にいるものとしては、コロナ前の元の学校教育活動をいち早く取り戻すというよりも、今までになかったような新しい学校教育を構築し、創造していかなければいけないのだと感じています。また、これからの学校教育をもっと地域の皆様方のお力をお借りする、具体的には学校運営に対して地域の皆様方の支援をいただく学校運営協議会というものも導入、法制化、予算化もされています。この場をお借りして、そういった面でも、学校の方にもお力添えをして頂きたいと思います。

### 【井上委員】

美術協会の傘下にいろいろな活動をしている団体があります。

私は中央公民館で木彫の会の活動をしています。中央公民館が利用停止となって、再開されたら公民館の利用条件が変わっていて、各部屋の定員が決められた上、夜間の利用ができなくなりました。メンバーは30名近くいますが、創作室の定員が12名に決められたため、全員が入れません。活動は3班に分かれて、1週間に1回、順番に活動しています。メンバーの中でも不満が出ています。

来年度も今と同じような状況らしいので、今までと同じように班で分けて活動していきます。メンバーの交流も少なくなっているの、公民館に対して、できれば夜間に利用できたらいいと思うので、市に対してもご検討していただければ幸いです。

### 【中西委員】

スカウト運動育成協会では、それぞれボーイスカウト、ガールスカウトが日本連盟から注意事項として地域に応じた対応をしてほしい。また、その基準となるのは小中学校が何をできるようになったのか、学校の動きを見ながら、各団体が活動をしているということです。現在、高田市ではボーイスカウト5分団、ガールスカウト2分団ありますが、高田市全体が集まることや県で全体が集まるイベントや行事は全て中止にしております。各団のそれぞれの小学校の地域だけで活動をしている状況です。

ボーイスカウト、ガールスカウトの場合、ほとんど野外で活動していますので、そんなに密にしなければ影響はないと思いますが、保護者の方が慎重になられています。安全ですと保護者にアピールしても、今年はやめときますと言う方が多く、全てのキャンプが中止になりました。餅つきも屋外で実施するので、問題ないですよと言いましたが、やはり飲食は控えていただきたいということもあり中止になりました。保護者の方もかなりナーバスになっているのではないかと思います。

また、行事を決めるのも各家庭から子どもを預かる観点から、保護者の反応を見ながら、各行事の進行を決めていく状況であります。そういった中で、子ども達にはちょっとでも楽しく、そ

して一番大事なのは、子どもに接する指導者がコロナには感染しないことであると思います。集まってる活動はできておらず、こじんまりではありますが、各地域でしっかり活動をしていただいていると思います。

#### 【前川委員】

婦人会はお年を召された方がほとんどなので、コロナ禍の中でも何か行事を考えないといけな  
いと思いますが、ちょっとしたことでも大事になってはいけなかなという意見もかなり多く、  
昨年1年間は全ての行事が中止となりました。段々とコロナの感染症について皆さんが正しく把  
握されるようになってきてからは、月1回の定例会は市と校区で集まって会議や相談をしていま  
す。しかし、これといって良い意見があまり出ません。いつも危ないからやめようで終わってし  
まい、行事を実施するに至りません。

今年度に関しては、毎月の居場所づくりを中止にしましたが、来年度も居場所づくりの中止を  
決定しました。居場所づくりは、何人来るのかわからない、誰が来るのかもわからないので、無  
理に実施しても良い方向には行かないと判断し中止にしました。

今後の活動については、ワクチン接種が4月頃に始まるのではないかと思いますので、それを見  
極めて活動内容を決めていきたいと思います。

#### 【池田委員】

文化協会も昨年の桜祭りから始まり、全ての行事が中止になりました。文化協会が45周年と  
なりみんなで記念誌を作ることになり、3月2日までに持ち寄って今までの経験や思い出を茶華道・  
芸能・文化・創作の各部と役員で100ページ程の記念誌を作る企画に入っており、来年の4月  
には発行して皆さんに私達の活動はこうしていると紹介できると思います。

今年の桜祭りも中止と聞きました。桜祭りに向けて芸能部の方が一生懸命練習していたので、  
さざんかホールの小ホールで披露しようかと芸能部の会長さんにお話をしました。

#### 【戸倉委員】

昨年の2月から1年間全てのイベントが中止となり、活動は全くしておらず、ボランティアガ  
イドも実施しませんでした。しかし、ガイドは屋外で実施するものであり、換気等は必要ないの  
で、コロナウイルスの感染予防を実施していけばできるのではないかと考えています。近隣市町  
村はガイドを実施しており、高田が一番遅いのが現状です。

2月14日に大和高田の文化財めぐりを実施します。我々も活動を開始します。十分に感染予  
防を徹底し、参加者にはマスクの着用や検温、消毒を徹底してもらいます。従来は20人で1グ  
ループでしたが、今回は10名で1グループという形で密にならないようにガイドをしようと考  
えています。

60名の募集を予定していましたが、途中で中止になるかもしれないという懸念があったので  
募集が遅れました。現在、40名を超える応募をいただいております。まだ少し余裕があります  
ので、もし高田の町を一緒に歩こうという方がおられましたら、生涯学習課へご連絡をお願いし  
ます。

#### 【表委員】

私の講座は夜に実施していますが、昨年の3月からコロナの関係で今年度は一切活動しており

ません。定期講座の講師に一度集まっていたいただいて、どうしたらいいかと話し合いをする場を設けてほしいと言っていますが、一向に前に進みません。公民館には利用価値があり、80程の団体全てを集めると大変なので、定期講師だと20名程です。いろんな意見を聞けますが、その機会がないので、これからはやっていただきたい。

井上委員さんも言われましたが、彫刻の講座も夜で、定期講座をしていた人が一つのチームを作って実施しておられます。夜の定期講座を実施することについて、今年はどうなりますかと増田課長と話をさせていただきましたが、どうしても夜の講座が難しいという話になりました。1年間は猶予ができるが2年こんな状態が続くと生徒からも苦情が出ると思いますし、何のための公民館なのか分からないので話をさせていただき、来年度は昼の定期講座の募集をかけていただきました。仕事をやっている人が夜に習いに来ているのが公民館活動の素晴らしい点です。ありがたいことに今年の4月からは夜ではなく昼に開講できるのでうれしく思っていますが、正常に戻った時は夜に戻していただけるとありがたいと思います。昼も夜も公民館活動は同じですので、夜に活動できるようになりましたら、夜に戻して頂けますようお願いいたします。

#### 【事務局：増田課長】

周辺市町村へヒアリングを行っています。香芝市の場合、規制を緩めた途端にクラスターが発生し、再度規制を強化した事例もあります。

私共も今後の感染状況の予測が付かないこともありますが、昨年とは違い、できる活動のすみ分けを行い、年度途中でも利用範囲を広げていけたらと思いますので、ご理解とご協力をお願いします。

#### 【當麻委員】

昨年の2月の会議の時に土庫校区の総代会が中心となって高齢者の居場所づくりを企画、準備しようと申し上げましたが、企画倒れとなり、活動をしていないのが現状です。土庫校区は老人会として残っているのが2団体しかありません。後は解散しました。私は土庫公民館で民謡教室をやっています。その他にも詩吟教室等がありますが中止の状態です。民謡や詩吟は大きな声を出さなければならないので今は中止にしています。なぜかというとは換気をしてほしい、戸や窓を開けてほしい等、色々な制約があります。寒いので暖房を入れて窓を開けていると乾燥してしまいます。なんとか再開できないか考えていたのですが、いつの議会か分かりませんが、議会で加湿器を備え付けようということがあったと聞いています。行政としては前向きに検討していると聞いています。

我々高齢者が歌にしても踊りにしても、今やめると次に出てこられなくなります。何か続ける方法を我々は考えていかなければと思います。みんなで話し合い、万全の対策を練った上で、やっていける方法を考えていかなければと思います。加湿器もアクリル板の設置も、ぜひともお願いしたいと思います。

#### 【事務局：増田課長】

館の利用者の実態を伺い、この活動にはこれが必要である、どういう対策が必要かとそういったものをすり合わせながら、コロナの補助金を活用できるようにしたら、設置に向けて進めたいと思います。

#### 【當麻委員】

お願いします。お年寄りが活動できるようにお力添えをしてほしい。

#### 【吉田委員】

商工会議所の女性会自体があまり活動できていませんでしたが、この時期は本当に何もできませんでした。理事会を1回開催しただけで、それも商工会議所の事務局と話をしただけで、集まっても何もできないという話しかできませんでした。

#### 【新森委員】

昨年の補導会の活動については、会合、会議等は全て中止にさせていただきました。感染防止で皆さんに何かあってはいけない為中止としました。本来、主たる活動である巡視については、各支部の判断で実施しました。あるところは中止にした、あるところはごく少人数で実施したと実績報告がありました。

来年については、これといった指針はありません。ただ、同じように高田市の将来を担う子どもたちの健全育成のため、感染防止を徹底して、人数・回数は少なくなるかもしれませんが、青少年課の指導を仰ぎながら巡視の活動は進めていきたいと考えています。

#### 【西川副議長】

昨年4月から体育協会本部としての活動、市の行事を含めても実施しておりません。全部のイベントについて1ヶ月前まで役員が実施するかしないか話し合いをしました。やはり皆さんと同じく感染したらいけない、体育協会から感染者を出してしまうと全部とめられてしましますが、何人か濃厚接触者等が出ました。今一番苦労しているのが、小中学校が使えないことです。各クラブが7月くらいから再開していますが、緊急事態宣言が発令され、小中学校の貸出が全て止まってしまいましたので、各クラブが相当苦労しています。市民グラウンドや第2健民グラウンド、総合公園、体育館が使えますが、取り合いになっています。体育協会としては全部まとめて、体育協会や体育振興課で揉めないようにやってこうと話をしています。早くこれを解除してもらいたいのが一つのお願いです。

各指導者も短時間ですが、指導を頑張ってください。ただ、スポーツはソーシャルディスタンスが難しく、体が触れ合うことが多いです。卓球やテニスの場合は触れ合う機会が少ないですが、それ以外はほとんど体が触れ合ってしまう。体育協会本部としても各指導者には、消毒の徹底とマスクを着けてできるスポーツは着用しながらするように指導しています。

#### 【稲垣議長】

公民館で60歳以上のコーラスと児童合唱団、若い女性の合唱団をやっていますが、児童と若い方の数が少ないので3階の大ホールを借りて実施すればソーシャルディスタンスを保つことができるので、問題はないが、講座の高齢者コーラスは100人近いので、もしここでコロナが出たしまったら、歌っている人が沢山いるからと言われるのが分かっています。公民館の館長と毎週相談しながら実施しています。

活動をやめたら、その先大変なことになると分かっていました。徐々に体調が顔に出てくる方を見かけます。そして、階段が登りにくいという人が何人か出てきていますので、その方たちを応援しながらやっております。公民館は6月半ばから開館しました。しかし時間や人数制限、消

毒、換気をしながら10月まで月に1回程の練習を行い、10月からは今のところマスクを着用して活動しています。合唱用のマスクは12月の初め頃に申し込み、2月の初め頃に届きました。そのマスクを着用しながらここまで必死でやってきました。

今のところ団体からコロナの感染者は出ていません。また、コンサート関係は全てなくなりました。

**【事務局：増田課長】**

周辺の市町村の運営状況、どういう道具を使っているのかの情報を集めて質問等がありましたら、お答えできるようにしていきます。

**【稲垣議長】**

ただ今の報告について、何か質問はありませんか。

ないようでしたら、第2号議案の承認を拍手でお願いします。

では第3号議案について、教育委員会事務局各課からの報告事項ですが、まず初めに青少年課梶村課長からお願いします。

**【梶村課長】**

先日、大和高田市いじめ問題対策連絡協議会を1月18日に、その下にあるいじめ対策委員会を1月28日に中央公民館で実施しましたので、皆さんに知っていただきたい内容だと思い、お時間をいただいております。

いじめの協議会については、副市長を会長に新森委員や佐藤先生にも委員として名を連ねていただいて議論をしてきました。対策委員会については大学の先生や弁護士、精神科医、社会福祉士の方々に協力いただいております。

協議会というのは、いろんな各方面のいじめに関する状況をお知らせいただいて共有し、持ち場で展開していただく形です。対策委員会は各学校で起こる事案について、我々教育委員会と一緒にやっていきますが、それでもより専門的なことをという時に、こういった方々のお力をお借りする仕組みになっています。

資料に、いじめ見逃しゼロを目指したと書いてありますが、私の方から国の大きな流れや市の取り組みをご説明して、井芝指導主事からアンガーマネジメント、これは高田市で積極的に取り組んでいる事業です。それについてご説明し、各委員の皆様からいろんなお話を聞かせていただく機会を持ちました。

いじめの定義があります。私も小さいころに、いじめという言葉を目にしましたが、ねちねちと何回も強いものが弱いものというイメージとは、かなりかけ離れているのを知っていただけたらと思います。すなわち、誰にでも起こりうる、どこにでも起こりうるのだというのが、今のいじめの考え方です。

仲間はずれや陰口を叩かれたことがあるか子ども達に聞くと、9割があると言いました。そして9割がしたことがあると言いました。これは国立教育政策研究所というところで、より実態に応じた調査です。また、ドラえもんで表現すると、ジャイアンがのび太君をいじめるのではないということです。ある大学の先生は言いました。学生にドラえもんの登場人物で誰が心配と聞いたら、しずかちゃんと答えました。なぜかと聞くと、男の子と一緒に遊んでるからと女の子の友



達がない。そんなことを学生が言ったそうです。ジャイアンではなく、のび太君でもドラえもんでもスネオでもない、しずかちゃんが今のいじめっ子ではないのかなと言われていた大学の先生もいます。ですので、誰もがいじめっ子やいじめられっ子になりうるということが、いじめの調査で分かっています。

また、熱心な先生ほど抱え込むというところに陥りやすく、学校の組織的な対応とは逆のことになってしまう、そうすると、どんどん深みにはまっていくのではと言われています。私も小学校の教師をしていましたが、子どもが、すごく嫌な思いをしてるのに一生懸命保護者に話をしたり、家庭訪問を繰り返しましたが、違う先生がお話してくださってその瞬間に親と子どもが心を開いてくれたことがありました。やっぱり自分でなんとかしないといけないという思いが子ども達や保護者を追い詰めていたんだなという経験があります。

いじめには被害者、加害者、観衆、傍観者がいます。いじめというのは、被害者と加害者が強く言われがちですが、観衆、傍観者に目を向けないといけないのかなとしきりに言われています。すなわち、いじめは加害者、被害者だけの問題ではなく、集団の問題、これはみんなの問題なんだよということが研究や学校の実態から言われています。

いじめの取組の中で、早期発見、早期対応がよく言われていたのですが、いろんなことが起きるその前、未然防止が大事だと、信頼関係が大事でそこがしっかりしていればいじめなんて起きないであろうとご意見をいただいたところです。

いじめが起こりにくい学校ってなにか、日常の取組がそういったことの起こりにくい学校や社会を作るのではないかなという考え方、いわゆる未然防止が大事という風にされています。一つ一つの取組を充実させることが結果として、いじめが起こりにくい学校や社会になるのではないかと思います。

主体的な子どもを作ることが、大事とされていて、自己有用感、そして、自己有用感の高い子どもは他者を攻撃する可能性が低いことが調査で立証されています。そして誰もが安心できる集団、結果として、いじめが起こりにくい集団となります。

アンガーマネジメントは、自己有用感が高い子ども達を作るために有用であると研究で示されています。学校教育課が中心となり、活動を先生方に進めているところです。

学校と保護者・地域・関係機関との連携ということで、パートナーとしての関係の構築が必要であると言われていています。子どもの危機は社会の問題であるという認識を皆さんもお持ちのものだと思います。

これらの話をみなさんにもお伝えしたくてお時間をいただきました。

#### 【稲垣議長】

ありがとうございます。次に生涯学習課藤田補佐よりお願いします。

#### 【藤田補佐】

中央公民館より1点報告させていただきます。

公民館では毎年2月にさざんかホールで成果発表会を実施していますが、今年度はコロナウイルスの関係で中止とさせていただきます。

#### 【稲垣議長】

ありがとうございます。二つ続いての報告について、ご質問はありますか。

**【當麻委員】**

いじめの問題でお尋ねします。

私は土庫小学校で評議員をしています。私たちの子どもの頃は、いじめがあったのか、なかったのか思い出せないが、いつも言っているのは、ガキ大将を作ること、それからコラおじさん、その地域に怖いおじさんがいることは、いじめをなくす一つの方法ではないかと思います。

**【梶村課長】**

ありがとうございます。我々も学校に対してのリーダーシップを発揮する教育委員会でないといけないと思います。

また、いじめ対策委員会の関西学院大学・山本教授がオーストラリアに不登校の研究にいった時の資料には、一番上にリーダーシップと書かれています。いじめは英語でブリングといいます。ブリングという言葉はどこにも書いていませんでした。生活や生きる基盤みたいなものが、書かれています。

リーダーシップとサポート支援、地域のつながり、それから多様性、子どもの思い・気持ち、その5つが混ざり合って、よりよい生活を作るのではないかと書かれています。

ですのでガキ大将は必要であると思います。

また、コラおじさん、コラおばさんも地域に沢山いてくださると、私もそういった方に教えられたことが沢山あります。でも今は不審者情報であげられることもあり、あいさつをするだけでも言われますので、本当に難しいことではあると思いますが、やめるのではなく、やっていただけるのかということ私たちが考えてないといけないなと思います。

**【當麻委員】**

私も16年間、土庫小学校の立哨をしてきました。昨年で辞めましたが、やっぱりコラおじさんは必要だと思います。

**【佐藤委員】**

おっしゃるとおり、梶村課長の話にもあったとおりであると思います。

當麻委員がおっしゃっていただいたコラおじさんが、まさに地域の教育だと思います。

また、学級や学校で子どもたちの中にリーダーがいると、自分たちを高めていこうとします。それともう一つ家庭での教育です。

家庭、地域、学校での教育力こそが、まさに社会教育委員のテーマといいですか、3つ合わせて生涯学習ということなのかなと思います。それらが一体となっていじめがなくなっていくのかなと思います。

**【當麻委員】**

長いこと立哨をしていると不審者ではないと子どもも分かってくると思います。

我々自身も中へ入り込んでいかないといけないと思います。

**【稲垣議長】**

ありがとうございます。

他にないようでしたら、第3号議案の承認を拍手でお願いします。

第4号起案はこの際ですので、各委員何かご質問・ご意見はございませんか。  
それでは以上を持ちまして議事を終了しますので、事務局にお返しします。

【事務局：増田課長】

議事の進行ありがとうございました。

生涯学習課からの連絡としまして、本日の配布資料にある「第52回奈良県社会教育学校」が3月9日火曜日に田原本町の田原本町青垣生涯学習センターで開催されます。参加を希望される委員がおられましたら、お帰りの際に事務局にお声をお掛けください。

以上を持ちまして第2回社会教育委員会議事を終了しますが、委員の皆さまには令和元年度、2年度と社会教育委員として、本市教育全般にご尽力いただきまして本当にありがとうございました。

令和3年度、4年度についてもまた新しく委嘱をさせていただきますが、その節はよろしくお願いたします。

本日はありがとうございました。